

雪合戦

雪を使った競技「雪合戦」を通じて、楽しみながら雪に親しみ、チームゲームを通して協調性や連帯感を養うことができます。

○時期…12月下旬～3月上旬

※天候や降雪状況により、実施できない場合あり

○所要時間…1～2時間

○対象…小学生以上

○定員…30～40人

○実施場所…トンカチ広場

○指導…職員の指導なし

○団体が用意するもの

飲料水、救急バッグ
(汗拭きタオル)(カイロ)

○服装

スキーウエアなど雪の中での活動に適した服装
手袋、帽子(飾りなし)、ネックウォーマー
ゴーグル

○活動手順

【活動前】

- ・トイレを済ませる。
- ・雪の中で活動できる服装に着替える。

【活動時】

1. トンカチ広場に集まる。
2. 準備運動を行う。
3. チーム編成をし、対戦順番を決める。
4. シェルターを設置し、雪玉を作る。

※日高の雪はさらさらで固まりにくいので、雪と水を混ぜて雪玉を作るとよい。
ただし、雪玉に石が入っていないか、硬すぎてけがをする恐れがないかを十分確認する。

5. 最初に対戦するチームはヘルメットとゴーグルをつける。

6. 試合を行う。

○参考

- ・1チーム7～10名
- ・雪玉に当たるとアウト。コートの外に出て、そのセットは戻れない。
- ・相手チームが全員雪玉に当たるか、相手チームのフラッグを取ったら勝ち。
- ・1試合3分3セットマッチ。2セット取ったら勝ち。

※活動中は水分補給や体温調整を忘れずに行う。

7. 活動終了後、原状復帰をし、物品の雪を落としてもとの場所に戻す。

○自然の家が用意するもの

スコップ、バケツ、ゼッケン
シェルター(大3小4)、雪玉作り器
フラッグ、水の入ったポリバケツ



団体が指導

試合に出ない人は、コートから
5m以上離れましょう。